

科目名	ファイナンシャルプランナー演習 I Financial Planning I						
科目担当者	宮永 雅行 MIYANAGA Masayuki						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	<p>いま、金融機関を中心にファイナンシャルプランナー（FP）資格の取得を求める動きが強まっている。FP にとって基盤となるものは Financial の意味のとおり金融知識である。そこで前期は FP に必要な金融、保険、不動産、相続、税金、年金などのさまざまな知識のうち最も重要とされる「金融資産運用」について学習する。</p> <p>講義では、まず FP とは何かを学んだうえでマーケットの仕組みとその変動要因、そして金融商品について学習する。全体の仕組みと個々の商品の特性が理解できれば、FP はより身近なものとなるはずである。</p> <p>また、金融機関に在籍した経験にもとづき、FP 知識が金融現場でどの様に使われているか、またどれだけ大事かについても伝えていく。</p>						
授業の到達目標	<p>①FP 概論を学習することで、FP はどのようにあるべきかを理解する。</p> <p>②金融市場や景気、金利、物価などマーケット環境などを学習することで一般的な金融知識を習得する。</p> <p>③FP 技能検定試験 3 級の受験に必要な知識を養う。</p>						
授業計画・内容	1	FP 概論 (1) ※FP の歴史					
	2	FP 概論 (2) ※FP の社会的ニーズ					
	3	FP 概論 (3) ※FP の社会的役割					
	4	金融市場の仕組み					
	5	GDP および経済成長率					
	6	三面等価の原則					
	7	景気 DI と日銀短観					
	8	マネーストック統計について					
	9	個人消費関連の指数					
	10	金利決定のメカニズムおよび金利の変動要因					
	11	金利の種類					
	12	景気と金利の関係					
	13	物価と金利の関係					
	14	為替と金利の関係					
	15	まとめ					
授業外学修 (事前学修)	毎回、Moodle に事前に掲載した次回授業内容の PDF を熟読し、自分なりにノートにまとめてみる。(毎週 2 時間程度)						
授業外学修 (事後学修)	毎回、授業内容について要点を整理し、不明な個所を調べておく。(毎週 2 時間程度)						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応
	定期試験 2 回の課題の提出				70% 30%		①②③ ①②③
成績評価基準	<p>秀：(評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：(評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：(評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：(評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：(評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合</p>						
教科書	資料						
参考文献							
その他	※この科目は、金融機関での勤務経験を有する教員が実務経験を踏まえてファイナンシャルプランナーの知識のうち「金融資産運用」について指導します。						